

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:R7年3月7日

事業所名: 児童発達支援 多機能型放課後等デイサービスみらいスイッチ神埼

対象人数(保護者)9人 回答者数 3人 回収 33.3%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3		
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	3		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3		
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1	
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3		
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	2	1	
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3		
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3		
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	1	
	⑪	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	1
保護者 への 説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3		
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3		
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3		
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3		
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	1	
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2		1
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3		
㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3			
非常時 等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	2	
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	2	
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3		
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1	
満足 度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	3		
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3		
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	3		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	みらいスイッチ神埼(児童発達支援)		公表日	R7年 3月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		支援内容によって別室を使用する等の工夫が出来ている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	他の事業所より応援してもらった体制がある。	日によってスタッフの人数不足を感じる事もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	目的によって使用する空間を分けており、いくつかの空間を確保できている。	一部段差があり
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日、清掃と消毒を心掛けて実施している。	古い建物なので場所によってカビがしやすい環境と虫が発生しやすい環境である。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	児童が希望する場合に個別に使用できる場所を用意している。	個別に使用できる場所はあるが誰でも入れる環境であり、体調不良時も同様である。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	事業所評価を実施している。	事業所評価を受けて意見を本に改善をしていくべき所を検討する事が必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝・夕のミーティング及び定期的な会議と必要時のミーティングで意見を交わし取り組みを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	保護者からの意見等を元に業務の工夫や対応を日々心掛けて業務の改善に努めている。	外部の評価を受けて必要な業務改善を行なう事が必要と考えている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		全職員対象に毎月色々な研修会を実施している事と外部の研修会にも参加出来る体制がある。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		基本的な療育方針があり、事業所でも支援方法を整えており、個別支援計画を行なっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		アセスメント・モニタリングを繰り返しながら適切な支援について意見を交わしながら計画作成を行なえている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	スタッフ間ミーティングや会議で関わるスタッフの意見を聞きながら児童の課題について計画に反映する事が出来ている。	時々、全員が参加しての会議が行なえず共有できていない事がある。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	計画書を個人ごとにファイリングしていつでも確認出来るようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	標準化したアセスメント表を準備し記録している。特性に応じて専門的な支援スタッフによる支援計画に対応する体制がある。	標準化したアセスメントシートの利用が出来ていないスタッフもいるので周知する。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		支援計画書作成に設定できている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		定期的に会議などで話し合いが出来ている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		定期的に会議などで話し合いが出来ており、新たなプログラムの導入を図っている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童の特性や課題を把握し個別の対応や集団活動を取り入れて支援を行っている。 専門的支援を含む	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日のミーティングで確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		毎日、当日の振り返りや反省がミーティングで実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		HUG記録を残し保護者・家族へ報告を行なっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2	最低、半年に1回モニタリング実施し支援内容の反省、新たな課題などの抽出を行なっている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	児童発達支援管理責任者と児童の支援に入るスタッフが参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	各関係機関との連携できる準備は行なえているが、これまで連携する事は余りなかった。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	送迎の際に保育士さんとの情報共有を行なったり支援の内容など話ができています。	児童の送迎時に情報共有する事もあるが、送迎の無い児童の場合では保育所等との情報共有が行なえていないので、双方の共通理解として情報共有できる体制を整える事が必要。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		就学前の事業所と学校の情報共有を行なう事がほとんどない、必要に応じて実施出来るように準備していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4		児童発達支援センターとの連携を行なう機会がこれまでなかった。今後も必要に応じてそのような機会を設けていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		保育所や幼稚園等との交流は何か良い機会があれば検討していきたい、地域の中での児童の活動が出来るようにも検討する
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎の際に当日の状況を伝えたり家での様子を聞いたりHUGでの報告を行なっている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		家族から育児などの相談が受けられるように専門的な研修を受けたり開催できる体制を整える事が必要。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		規約時や個別支援計画の説明時に行なえている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	アセスメント・アンケートを取り自己選択・意思決のもとで課題解決を目指した計画書作成に努めている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		計画書を掲示し説明に努めている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	相談を受けた時に対応できる内容であれば助言できていと思う。	定期的かどうか分からず。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		父母の会、保護者会など開催は行っていない、必要があれば開催出来るように準備もしていく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	相談などあればその都度対応している。	苦情などの相談窓口の案内、体制のお知らせは出来ている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		日々、週間、毎月の別にお便りやSNSなど実施できている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		研修会や日々の業務の中でも取り扱いについて周知している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		電話や文書、メールなど対応が行なえている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		これまで地域の住民を招き入れた活動の実施など行なえていない、必要であれば計画していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	各種のマニュアルがあり訓練も実施している。	家族にまで周知する事は出来ていない事と訓練は年に1回で参加できないスタッフもいる。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	計画書の作成は出来ている。	災害を想定した訓練は行なえていないので今後実施していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	アセスメントの記録で確認している。	年に1回程度見直しを検討していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アセスメントの上スタッフ間での周知を行わない対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全管理計画作成されており訓練の実施、対策が行なえている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	発生したヒヤリハットで情報共有し対策の検討を行なっている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		普段より事業所及びグループ内で研修会を開き適切な対応方法や不適切事例について学べている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	マニュアルがあり、組織的に取り組んでいる。契約時などに説明している。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいスイッチ神埼（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 16日		R6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	R6年 12月 16日		R6年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行なわれた支援の振り返りを行ない、気付いた点等を共有している事。	毎日の支援の終了後、直ぐに良い事も悪い事も意見を出し合い反省する事に努めていて、児童の様子に気を付けて対応している。	今後も反省を活かして、次の支援の際に振り返った事を実践し再度の振り返りを行っていく。
2	定期的に通信等を発行する事や、HP,SNS等を活用する事により。活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子供や保護者に対して発信している事。	日々の支援内容の提供時の様子を各家庭に向けてお知らせしている（HUG）また、定期的なお知らせ以外にも緊急時の連絡、及びSNS等で様々なお知らせ、活動の報告を行なっている。	今後も保護者の希望する情報発信、SNSを含め色々な情報等を提供していく。
3	活動プログラムが固定化しないように工夫している事。	同じ内容の活動であった場合でも、課題の内容を変えてみたり、難易度を変化させていたりしている。また、同じ活動でも企画者を変える等をしているので、活動の内容としては固定した内容にならないようにしている。 また、季節に応じた活動を取り入れたり変化を取り入れたり工夫している。	今後も色々な皆さんの活動プログラムを企画していけるように情報を得ながら動画などを参考にしたりして楽しめる企画を考えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っていない事。	家族の困り事に対して、話を聞き相談を受ける事は出来ていると思われるが、専門的な知識での適切なアドバイスが出来ていない事もある。 色々な経験などがありベテランのスタッフもいるが十分であるとは言えない。	スタッフを含めて事業所での外部講師を招いたりしながら研修会（家族参加）を取り入れる等の工夫を行なっていく事が必要と思われる。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っていない事。	これまで、事業所内で支援を行ったり、活動を行なう事を重視していた。地域の住民などを招待する等の意識が無く企画も出来ていなかった。	事業所としてどのような運営を行なっているのか、地域の住民を招待する等に関して会社として基本的な検討を進め予算や人員配置などの準備を行なう事が必要と感じている。
3	父母の会の活動を支援する事や保護者会などを開催する等により保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をおこなっているかと言う事。	これまで、父母会というものが存在していなかった事もあり、意識して保護者会を開くなどを計画したり実施することが出来ていなかった。	保護者会を開くと言う事でなくても事業所で保護者が交流する機会が持てるように企画などで工夫していく事が必要と感じる。